

令和3年度入学生 キャリア教育全体計画

学校番号	5	学校名 (課程)	中野立志館高等学校 (全日制)
------	---	----------	-----------------

1 目 標

- 肯定的自己概念の探究と偶然の出会い・機会の場を通しての自立と、役割理解を通しての自律を支援していく。

2 現状・課題

本校では、「産業社会と人間」、「総合的な探究の時間」、の授業中で多くの内容のキャリア教育を実施している。特に、インターンシップは貴重な体験となっており進路選択に役立っている。1年次からの教育活動をいかに進路に結びつけ、生徒や保護者に情報を伝え連携し、進路実現を図るかが課題である。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力) 【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい

- a 経験を通して、肯定的自己概念の成長を促し、希望と術を見つける力
 b 人生全体を考察して、自己理解に基づく進路設計力
 c 労働に必要な社会人基礎力
 C1 考え抜く力 C2 前に踏み出す力 C3 チームで働く力

4 内 容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉える。生徒にも意識させる。 イ 各取組の繋がりを意識し、3年間の系統的な指導を行う。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 講演会や就業体験活動等は事前・事後指導、特に振り返りと身につけた力(ジェネリック・スキル)の確認をする。〈②, ③〉
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 年度末に評価(教員、生徒自身)を行い次年度の取組や指導に生かす。 オ 社会や世界の様々な現実や課題、人間の生き方について考えさせる。〈①〉
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む。	カ 知識、技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランス、言語活動の充実を図る。学んでいることと社会のつながりを意識させる。〈②, ④〉
⑤ライフ・プランを考える	キ 家庭や地域社会、産業界等の力を活用する。就業体験活動等、地域社会での体験活動を推進する。〈②,③,⑤〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・思考力、判断力、表現力を育成するため、意見交換、課題の発見・解決、プレゼンテーション、ディベート等双方向型、グループワーク等によるアクティブラーニングの学習活動の導入 ・内容を、身近な事や物と関連づける
総合的な探究の時間	・人生のライフイベントとファイナンシャル・プランを考える(教育、仕事、結婚、退職、老後など) <1年産業社会と人間、2年> ・ <u>進路選択を踏まえた総合的な探究の時間<2年></u> ・進路選択(分野)別グループに分かれ、研究課題を見つけ課題解決の研究 <3年>
特別活動	・生き方、在り方を考えるための講演会、グループワーク、小論文等 ・勤労観、就業観の形成を促すための就業体験 <1・2年>、講演会<1・2年>、労働等各講話 <3年> ・科目選択<1・2年>、進路の研究と選択<1・2年> ・将来設計、夢、志、目標
校外の体験活動 (就業体験活動等)	・就業体験活動 (全員+希望者は複数回も可)<1・2年> ・ボランティア活動、オープンキャンパス説明会、福祉施設体験、(希望者)<1,2,3年>

地域や産業界等との連携	・仕事の報酬とは・生徒講演会、学校祭活動、教員研修、高大連携 ・就業体験(事前、事後指導も含む)
評価	・生徒、教員アンケート、面接等で生徒の成長とキャリア教育の取組を評価し次年度の改善に反映 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用 ・キャリアポートフォリオ、キャリア発達の研究
中学校との連携 (指導の継続性)	・高校入学までのキャリア発達と形成の振り返り(入学時) ・学校説明会で高校のキャリア教育を説明 ・中学校のリテラシー教育の把握(学校祭等の視察)と高等学校への継続指導の連携と模索
校内の推進体制	・キャリア教育部(企画推進委員長、教頭、総合学科主任、進路指導、産社・総学係、生徒指導等の代表) ・全教職員で推進。特に学年担任団はキャリア教育部と緊密に連携。理念の確立と共有
キャリア・パスポートの取組	・生徒は授業や面談等で、自らのライフプランの計画、探究、振り返りを行う。学校は保護者と連携し、生徒のライフプラン実現をサポートする(1～3年)。 ・人生のライフイベントとファイナンシャル・プランを考え、自らのライフプランを探究し、実現を図る(教育、仕事、結婚、退職、老後など) <1年「産業社会と人間」、2年、3年「総合的な探究の時間」>

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○自己を知る、社会を知る ○学習と社会について考える ○働くことと進路を研究する	○自己理解の探究を深める ○人生設計について考える ○進路を選択する	○将来の夢・目標・志を立てる ○就きたい職業を選択する ○進路実現をめざす
主 な 取 組	○高校生活への適応、仲間づくり ○「地域産業と役割を考えようⅠ」「ライフ・プランニング」(産業社会と人間の時間) ○進路研究と2年次の<u>進路科目選択</u>	○総合的な探究の時間 ○就業体験(事前研究、事後発表会) ○<u>進路探究(HR)</u>と3年次の<u>進路科目選択</u>	○進路実現までの具体的な目標設定、計画及び課題の明確化
評 価	・生徒意識調査(県教委)、面接 ・教員アンケート ・自己評価	・生徒意識調査(県教委)、面接 ・教員アンケート ・自己評価	・生徒意識調査(県教委)、面接 ・教員アンケート ・進路状況

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他 (面接・評価等)
1 年	4月- 産業社会と人間 シラバス説明 情報【集中授業】----- 産業社会と人間 ----- 国語「羅生門」職業等幅広く社会について考える 7月 夏休み	キャリア・プランニング 就業体験活動 オリエンテーション 職業調べ(テクニカルスキル習得) 職業調べ発表(情報の授業と連携) 履修科目登録に向けてシラバス研究 就業体験活動 事前指導	高校生活オリエンテーション(合宿等) これまでのキャリア形成の振り返り 進学研究①, 職業研究① ボランティア活動、スクールインターンシップ 介護福祉体験希望者	生徒意識調査、面接 保護者懇談会
	8月- 産業社会と人間 9月- 情報【集中授業】 国語「伝え合う力(プレゼンテーション)」 12月- 家庭「家庭経済」	就業体験発表会 事後指導 レポート作成、提出 校内企業説明会(希望者) 職業人インタビュー(未実施者)	 進学研究②, 職業研究② 2年次科目選択	 自己評価 保護者懇談会
	1月- 現代社会「雇用、労働問題」 「社会保障」 産業社会と人間 ----- 数学「データの整理」 春休み	学習成果発表会 ライブ・プランニング～ライフイベントと人生を考える キャリアプラン発表会 1年間のまとめ、3年次への展望	「進路決定者に聴く」 進学研究③, 職業研究③ 進路調査 ボランティア活動、介護福祉体験希望者	生徒意識調査(県教委) 面接、教員アンケート 年間評価、次年度の計画
2 年	4月- 各教科のキャリア関連シラバスの目標実践 地歴「国民生活の変化」 化学基礎「エネルギー、環境」 7月 夏休み 英語課題「〇〇の伝記」を読み生き方を考える	総合的な探究の時間ガイダンス 探究の意味・プロセス 問い立て方 課題設定 データの収集 就業体験活動 データの収集計画	進学研究④, 職業研究④・業界研究 就業体験活動 オリエンテーション 計画 事前指導 就業体験活動 ボランティア活動、介護福祉体験、オープンキャンパス(希望者)	面接 保護者懇談会
	9月- 志望理由書指導・履歴書指導 12月- 国語「レポートの書き方」	データ分析 探究考察 プレゼンテーション (地元企業の校内企業説明会参加) 新たな課題設定 データの収集計画・分析・整理 探究考察	事後指導 レポート作成 ○就業体験活動発表会 3年次科目選択 進学研究⑤, 職業研究⑤	面接 保護者懇談会
	1月- 小論文指導 3月 春休み	学習成果発表会 プレゼンテーション	進学研究⑥, 職業研究⑥ 進路決定者の話を聴く 第2回就業体験活動(希望者) ボランティア活動、介護福祉体験希望者	生徒意識調査(県教委) 面接、教員アンケート 年間評価、次年度の計画
3 年	4月- 各教科のキャリア関連シラバスの目標実践 7月- 各教科のリフレクションの実践 夏休み 個々人の科目別リフレクション指導	テーマ別探究活動 ヒューマンスキルの向上 社会人基礎力の向上 } ----->	進学研究⑦, 職業研究⑦ 文化祭 職場見学、オープンキャンパス(希望者)	面接 就職指導 保護者懇談会
	9月 各教科のキャリア関連シラバス目標実践 12月		進学研究⑧, 職業研究⑧ 労働出前講座(行政機関に依頼)	面談 生徒意識調査(県教委) 進学指導
	1月 3月	学習成果発表会 独自性の発揮		教員アンケート、進路状況まとめ、3年間の評価